

北園地区 安全・安心協働活動実践協議会

団体の概要

当協議会のメンバーは、北園地区の青少年健全育成協議会、町内会、体育振興会、PTAの代表、子ども会育成連絡協議会、小学校、十和田警察署中央交番等で構成されています。これまで、このメンバーを中心に、地域でのあいさつ活動やイベント等を通じて、子どもたちの見守り活動を実施してきました。

主な活動内容

○北園小学校の児童と地域を歩き地域の危険箇所を点検するとともに、保護者や町内会からも意見をもらい安全・安心マップを作成。全戸に配布し、地域の交通事故や防犯、災害時の意識を高める活動を行っています。

地域での危険情報の共有と児童の危険認知能力を高めるため、また、小学校に、児童や地域の人が危険箇所を書き込めるマップを設置しています。

○地域の点検活動に基づき、子供達の事故が発生しそうな場所について、関係機関への働きかけや、看板の設置を行っています。

○当地区は、市の中心市街地を含む地域であり、利便性が高い一方、高齢化率が高いことから、高齢者に多い、自宅でのケガ・事故予防に関する啓発用パンフレットを作成し配布するなど、高齢者の見守り活動を実施しています。

○地域で開催されている北園地区ウインターフェスティバル等で、協議会の活動や危険箇所への注意情報等を発表するなど、広報活動も実施しています。

安全マップの作成



危険箇所等の点検



活動を進めるポイント

○今まで活動してきた小学生の見守り活動を中心としながら、高齢者の見守りについても新たな課題として取り組んでいます。

○アンケートや書き込みマップの作成・設置を行い、地域の人々が事故や犯罪、危険箇所等について積極的に考えてもらうよう心がけています。



続けるポイント

○活動メンバーは、小学校の親世代が多く、仕事を持ちながらの活動となるため、既にある団体のネットワークや活動を有効活用し、無理をしない範囲で活動することとしています。

また、さらに活動を広げていくためには、地域課題についての意識共有や、広報活動が重要であると考えています。

情報交換の場



広げるポイント

○当協議会は、各団体の長がメンバーとなっており、協議会で話し合われた内容が各団体に伝わっていき、安全・安心に関する情報が地域で共有されるように、情報伝達体制を構築しています。

今後の課題や抱負

○当地域では、あいさつ運動等、学校と地域が一体となった児童の見守り活動を積極的に展開してきた地域であり、今後も地道に活動を継続させていければと考えています。

今後の課題は、高齢化が進行していることから、高齢者に対して事故や防犯に関する注意喚起や見守り活動が重要になってくるものと考えています。

また、協議会の活動の中で、高齢者へのアプローチを行ったことは、一つの成果といえると思います。